Ⅱ 乳幼児をもつ保護者を対象にしたプログラム

҈ 1−1 赤ちゃんといっしょ

対象:乳児と乳児を子育て中の保護者6~10組程度

時間:90分程度

ねらい	○ 乳児の成長の特徴を知り、赤ちゃんとの生活や関わり方のヒントを得る。 ○ 人との関わりの中で成長する大切さを知るとともに、電子メディアの影響について学ぶ。 ○ 親同士がつながり、子育ての仲間を得る。		
実施の ポイント (評価など)	○ 育児の不安解消、学び合い、情報交換、仲間づくりの場にすることができる。 ○ 絵本やおもちゃの与え方、メディアの長時間接触の影響などについて考えることができる。		
事前準備	○ 受付中や待ち時間にリラックスできるBGM○ 名札、配布資料、地域の情報誌、感想記入用紙○ 紹介するおもちゃ、メディアに関する資料○ 赤ちゃんも一緒に輪になれるよう、マットを準備する。		
時間	 学習活動 	学習活動のねらいとポイント	準備物
導入 20分	ワークの趣旨説明 ○名札づくり ○アイスブレイク	 ・名前とニックネームを書いてもらう。 ・ファシリテーターが自己紹介をする。 ・赤ちゃんの誕生日順に並び替える。 ・参加者が自己紹介をする。 (名前、赤ちゃん月齢等) ・赤ちゃんの名前の由来を紹介する。 (2~3人に聞く) 	名札
展 開 15分	ワーク1 ・赤ちゃんがどんな時に泣くかをみんなで出し合う。 ・資料を一緒に読む。	◎乳児の成長の特徴に気付くことをねらいとする。・日常生活の身近な場面を話題に出しながら、話がしやすい雰囲気で進めていく。	資料1
20分	ワーク2 ・日常に行っているふれあい遊びを互いに紹介し、みんなで一緒に体験する。 ・赤ちゃんの発達を促すおもちゃを資料と実物で紹介する。	 ◎赤ちゃんの心を育てる遊びについて気付くことを ねらいとする。 ・ふれあい遊びを楽しみながら、親子の信頼関係が はぐくまれることを伝える。 ・遊びがなじむように、何度か繰り返し体験する。 ・参加者からも、おすすめのおもちゃがあれば紹介 してもらい、情報交換を行う。 	玩具の見本
25分	ワーク3 ・それぞれの家庭でどのくらい視聴しているかを出し合う。 ・資料を読み、感じたことやこれから何をするかなどを話し合う。 ・地域の子育て支援情報、子育てひろばなどの情報交換を行う。	 ◎電子メディアの影響について気付くことをねらいとする。 ・資料から、メディアの長時間接触が子どもに与える影響について気付くようにする。 ・どんな時に見てしまうかを話し合い、各家庭の状況を把握し、親の気持ちに寄り添いながら話を進めていく。 ・家の中にこもっていると、ついメディアに頼りがちになるので、子育て支援施設などの活用を提案する。参加者同士で具体的な施設名などを紹介し合うようにする。 	資料2
まとめ 10分	ふりかえり○今日の学習をふりかえる・気付いたことや、これからできそうなことを一人一言ずつ話す。	・参加者全員がひとことずつ感想を述べてもらい、 全体で共有する。 ・可能であれば、参加しての感想を記入してもらう。	感想記入用紙